

「持続可能な 地域とともにある学校」の 体制の構築

～めざす子ども像を中心としたチーム春野の実現

きらっと いきいき あったかい 教育を目指して～

発表者 高知市立春野中学校長 小川 真悟

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
高知県高知市	● 児童503名 ● 生徒256名	令和4年度	20名	6回～7回	6名

学校教育目標

主体的にチャレンジし、学びを将来につなぐことができる生徒の育成～チャレンジ精神・コミュニケーション力・自尊他尊・郷土愛・学力向上～

学校・地域の特徴

- 春野では、9園・2小学校・1中学校があり、園児・児童・生徒で計1100名である。その春野で学ぶ子どもの成長を育むために、ワンチームで取り組めるための組織と実践を行っている。
- 持続可能な地域とともにある学校の体制の構築のために次の組織と体制を作っている
 - 学校運営協議会（3校で1協議会）
 - 地域学校協働本部（3校で1協議会）
 - めざす子ども像の明確化と実践

学校運営協議会の概要

委員の構成

- 地域学校協働活動推進員
- 主任児童委員
- P T A 会長
- 人権擁護委員
- 学識経験者
- 防災関係者
- 園長
- 校長

これまでの主な議題例

- 地域と学校が連携を深めるためにできること
- SNSトラブルを防ぐためにできること
- 春野でどんな子どもを育てるか
- 春野が目ざす子どもの姿を実現するためにできる具体的な活動

組織図



地域学校協働活動の特徴的な取組や工夫など

- 地域学校協働本部を立ち上げ、年2～3回、協議会を開催し、学校支援活動と子どもの学びを中心とした地域創生活動について協議を行っている。
- すべての地域学校協働本部協議会員は、校区部会と支援部会に所属し、各学校を支援する内容と、支援内容毎に協議する場を設けている。
- 令和6年度の地域学校協働本部協議会員は、76名（学校運営協議会委員・P T A 役員・管理職・地域連携担当教員・地域住民）で組織している。
- 地域学校協働活動は、地域学校協働本部協議会委員に加えて、ボランティアで参画してくれる保護者や地域の方も巻き込んで行っている。

1 – 持続可能な地域とともにある学校とは？

2 – 「持続可能な地域とともにある学校」

実現のための3つの実践

① 学校・家庭・地域が当事者として学校運営に参画できる体制

→ 学校運営協議会における熟議の充実

② 学校・家庭・地域が、目標・ビジョンを共有できる体制

→ めざす子どもの姿の明確化とPDCA

③ 地域ぐるみ教育を継続、発展、活性化できる体制

→ 地域学校協働本部による協働活動の充実

3 – その他の成果・まとめ

「社会に開かれた教育課程」

目標

「よりよい学校教育を通じて
よりよい社会を創る」の共有



連携・協働

新しい時代に求められる資質・能力を育む



社会教育との連携…

- ・人的・物的資源の活用
- ・土曜日・放課後等の活用

「**持続可能な**地域とともにある学校」とは？



教職員の**人事異動**に左右されない**体制**がある

校長や教職員の**人事異動**があっても

地域との組織的な連携・協働体制が**そのまま継続**できる

「持続可能な地域とともにある学校」 実現のための 3つの実践

1

学校・家庭・地域が当事者として学校運営に参画できる体制
→ **学校運営協議会における熟議の充実**

2

学校・家庭・地域が、目標・ビジョンを共有できる体制
→ **めざす子どもの姿の明確化とPDCA**

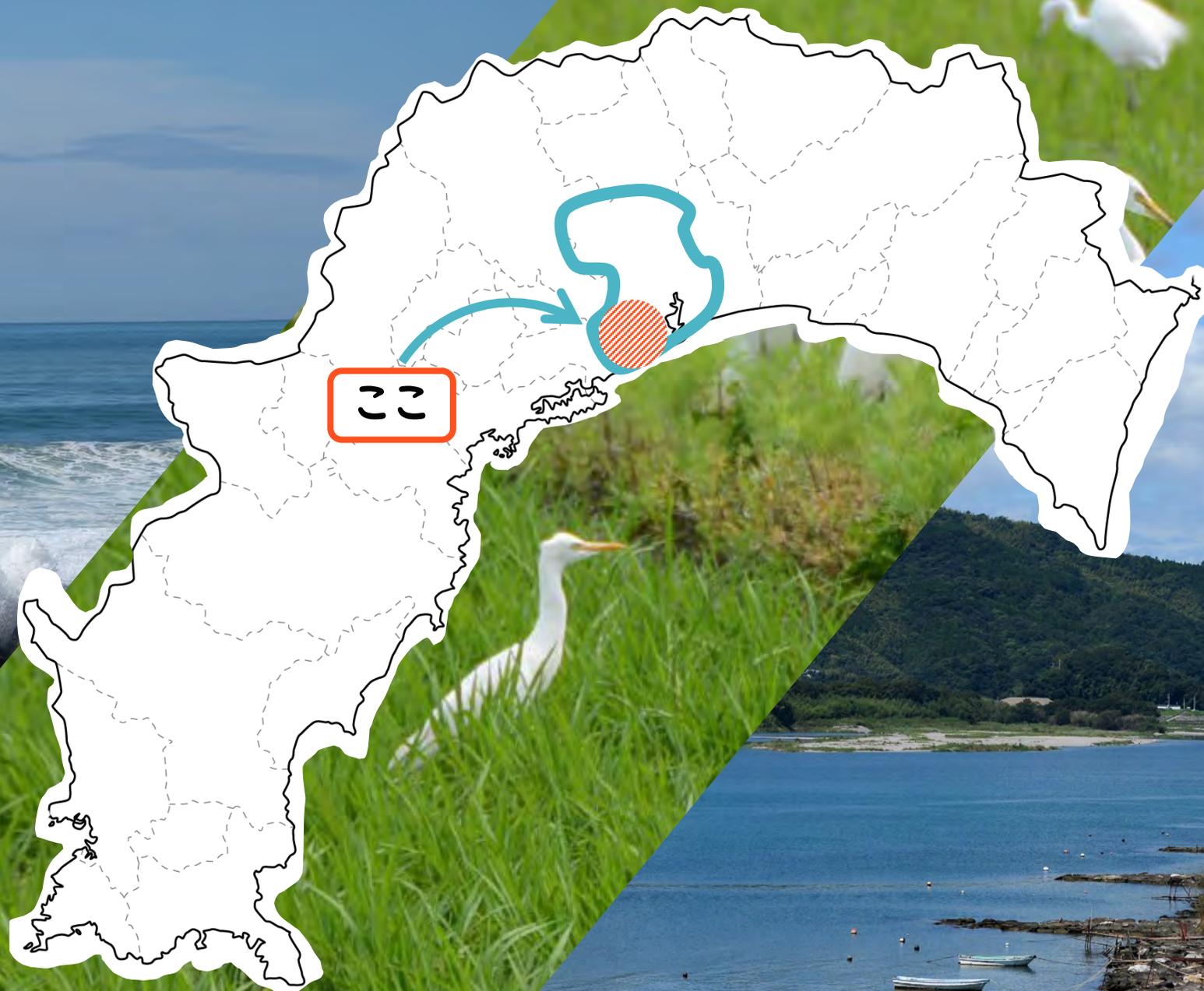
3

地域ぐるみ教育を継続、発展、活性化できる体制
→ **地域学校協働本部による協働活動の充実**

①

**学校・家庭・地域が当事者として
学校運営に参画できる体制**

学校運営協議会における熟議の充実



春野西小学校
180名

春野東小学校
323名

春野中学校
256名

6 保育園 1 保育所
1 幼稚園
1 認定子ども園

合計 9 園 348 名



3校で1つの学校運営協議会設置
令和6年度は委員20名

令和5年度は
年6回開催

17時から
2時間くらい
ワイワイ話してます

園・学校の代表(5名)



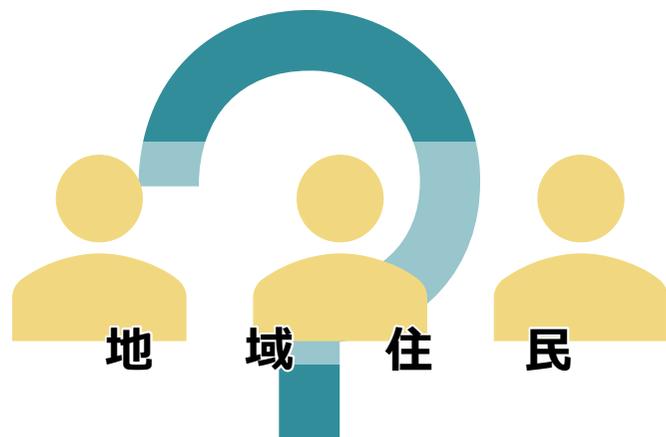
保護者代表(3名)



地域の代表(12名)



WHO?



HOW?

志や思いが人と人をつなぐ



前PTA会長



人権擁護委員

学校運営協議会の役目は**学校運営への参画**

何を「**熟議**」したのか？

① 学校と地域の連携

➡学校からの情報発信（学校だより、HPの充実etc.）

➡今ある教育活動への地域の参画（一日先生、防災の日etc.）

② SNSトラブルへの対応

➡PTA研修、三者面談での文書配布、学校だよりへの啓発

➡小学校の卒業前における防止教室の開催

学校運営協議会は**学校運営への参画**

これから何を「**熟議**」するか？

① 自尊・他尊を高めるためにできること

➡ 拡大学校運営協議会の開催（8月19日）

② 働き方改革

➡ 教職員の職務の現状のシェア

➡ 改革できることは何か？

③ 教育課程（学びを創造）

① 春野地区小・中学校運営協議会 まとめ

- ✓ 多様な委員（園・学校・保護者・推進員・地域）
- ✓ 年7回の協議会開催（合議体として意思決定）
- ✓ 当事者意識をもって実践し、PDCAを確認する

成果：全員参加の熟議が根付いた

課題：協議内容の精選化・時間管理

②

学校・家庭・地域が
目標・ビジョンを共有できる体制

春野がめざす子どもの姿の明確化とPDCA

ア

チャレンジ精神
挑戦する気持ちや姿勢

コミュニケーション力
考えを伝える力や情報を受け取る力

自尊・他尊
自分や他人の存在を大切にできる感情

学力向上
自ら学び、自ら考える力

郷土愛
生まれ育った郷土に対する愛情

イ

めざす子どもの姿 (資質・能力)

園児	小学生	中学生
自分のしたいことやできることを見つけ、自分で決めたり、意欲的に活動できる園児	主体的に挑戦し、成功や失敗を学びとして、夢に向かって努力することができる園児	主体的に挑戦し、成功や失敗を学びとして、夢に向かって努力することができる生徒
人との関わりや対話を楽しいと感じられる園児	誰に対しても進んで挨拶ができ、正しい言葉遣いや話し方ができる園児	心のこもった挨拶や場に応じた言葉遣いができ、『聴く・伝える』ことを大切に行える生徒
自分や友だちのことを大切な存在であると思える園児	自分や友だち(他人)の良さに気づき、自分や他人を大切にできる園児	自分や他人を大切にでき、自分自身に誇りをもって行動できる生徒
友だちと一緒に、工夫しながら夢中になって遊ぶことができる園児	めあてを意識して主体的に学習に取り組み、最後まであきらめずに課題に取り組める園児	学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く課題解決に取り組むことができる生徒
地域の方との交流をうれしいと感じられる園児	春野が大好きで、関心を持ち春野の良さや課題に気づき表現することができる園児	地域愛をもち、春野の良さを誇り、地域に貢献できる生徒

ウ

実現のための取り組み

園(教職員)	小学校(教職員)	中学校(教職員)	高校(教職員)	家庭	地域
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味・関心のあることに心を動かしながら、関わろうとする姿を見守る。 心の動きに共感し、認めたり励ましたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の自主性を生かした活動を推進する。 結果だけでなく過程も認める活動を行う。 他と競い合える活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分自身で決断し、目標に向かって行動し、成長させる。 生徒のチャレンジを肯定し、応援する。 振り返りを充実させ、次につながる指導や支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら興味を持ったことはまず自分で後押しする。 失敗を恐れずにチャレンジできるように声をかける。 誰が自ら何かに挑戦する姿を見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大人が生きていくと働く(活動する)姿を見せる。 地域が困っている課題の解決策を子どもと一緒に考える。 	
<ul style="list-style-type: none"> 温かい雰囲気の中で子どもの話をよく聴き、共感する。 子どもが自分で思いを伝えようとする姿を十分に認め、支えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話を重視する授業づくりに取り組む。 委員会活動等の特別活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分の考えを他者に伝える機会を多く作る。 聴くことを大切にする指導を常に心がける。 教職員自身が、根拠を挙げて意見を述べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での交流の場を生かし、相手の考えを聴き、自分がもった意見や考えを人に伝える。 部活内や日常生活でも挨拶を心がける。 全学年でできる何かを行い、差をなくしコミュニケーションをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> お互いに一日の出来事を話し、お互いにしっかり聴く。 おはよう、行ってらっしゃい等、家庭内でも挨拶する。 子どもの話をよく聴く。 大人からおはよう こんにちは等、笑顔で挨拶する。 子どもの頑張りを認める。 	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して自分を出せるような環境づくりをする。 子どもの姿をまごこと受け止める。大切な存在であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動中、児童の良さを認め、肯定的な声かけを行う。 清掃活動や朝の会、児童会、良いところ発表会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が互いに認め、関わる機会を多く設定する。 生徒の良き言動、変化を見つけ、タイムリーに評価する。 生徒の日々の頑張りを認める。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や学校生活で気付いた自分の考えを大切に伝える。 自分の見つけた相手の長所をその相手と共有する。 自分の考えや意見をきちんともち、人のために行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの考え方や気持ちを尊重する。 子どもの良き言動や取り組みなどに気づき、地域で発信する。 できていることや自ら表現していることを認める。 	
<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心のあることに夢中で遊ぶことができるよう環境を整える。 主体的に遊ぶようさりげなく必要な援助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> めあてを意識させた授業づくりを行う。 ICT機器を活用した授業づくりを推進する。 加力学習の充実を図る。 学習習慣の形成(家庭学習)を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味・関心を持つことのできる課題を設定する。 まとめる振り返りでできたことや分かったことを確認する。 学ぶ意欲を刺激し、家庭学習を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分も持っている疑問や興味に対して真剣に向き合い、自ら質問したり調べたりすることに取り組む。 まとめる振り返りでできたことや分かったことを確認する。 振り返りを通して、自分の苦手なところを把握し、印象に残ったことを大切に伝える。 分からない問題などがあってもすぐにあきらめずに考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで学習に取り組めるよう時間を決めて「習慣化」させる。 勉強時間にはテレビを消す等家族で学習に没頭した環境を作る。 子どもの考え方や取り組みについて積極的に関わる。 子どもの頑張りを見守り、自ら考える力を支える。 	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の方とふれあえるイベントに参加する。 地域の方と挨拶などしながら、地域への親しみが持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の良さと課題に焦点を置いた学習に取り組む。 総合的な学習の時間における地域に関する学習の成果を中学校につなぐ。 安心なくらしのため防災学習等に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事等で地域の方々と交流できる機会を作る。 郷土(歴史・産業・伝統)に関する学習を取り入れる。 総合的な学習の時間に、地域の特色や課題を学び発信できる学習システムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分も持っている疑問や興味に対して真剣に向き合い、自ら質問したり調べたりすることに取り組む。 地域に伝わる伝統文化で、生徒でできることに取り組む、継承していく。 春野で行われている行事やイベントなどに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子で地域の行事に積極的に参加し伝統を知る。 地域の方々、特に近所のお年寄り等と会話する機会を作り歴史を学ぶ。 地域の伝統食を共に作り食しながら、家庭メニューに加える。 自然や文化など、地域の魅力を子どもにも伝えていく。 郷土(歴史・産業・伝統)などについて、その地域だけでなく春野全域にPRする。 	

ア

テーマの決定

令和4年4月に合意
(第1回学校運営協議会)

イ

評価規準の決定

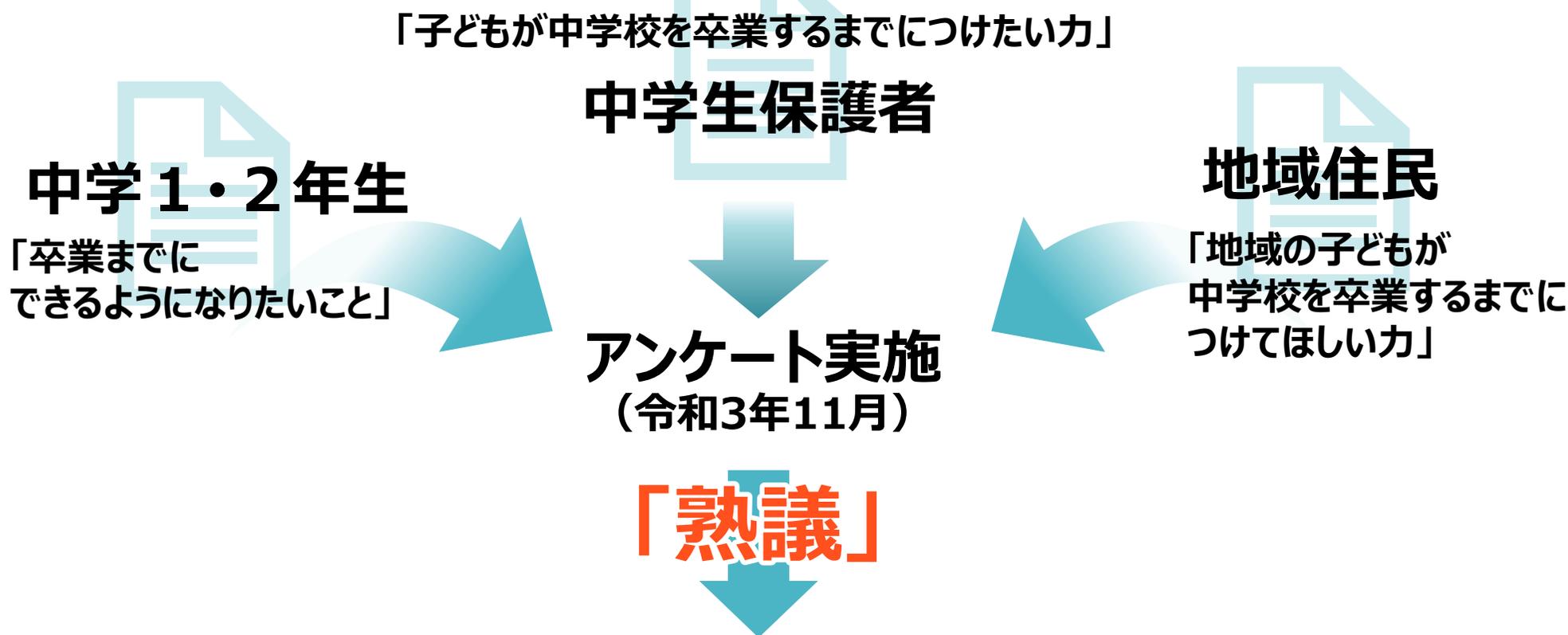
令和4年5～7月に合意
(第2・3回学校運営協議会)

ウ

アクションプランの決定

令和4年12月～令和5年1月に合意
(第4・5回学校運営協議会)

ア テーマ…項目と、その項目が表す意味、言葉の定義



チャレンジ精神

挑戦する気持ちや姿勢

コミュニケーション力

考えを伝える力や情報を受け取る力

自尊・他尊

自分や他人の存在を大切にできる感情

学力向上

自ら学び、自ら考える力

郷土愛

生まれ育った郷土に対する愛情

令和4年4月 第1回学校運営協議会にて決定

テーマ 付けるべき姿	めざす子どもの姿		
	園児	小学生	中学生
チャレンジ精神 挑戦する気持ちや姿勢	自分のしたいことやできることを見つけ、自分で決めたり、意欲的に活動できる園児	色々なことに進んで取り組み、失敗しても、もう一度挑戦する児童	主体的に挑戦し、成功や失敗を学びとして、夢に向かって努力することができる生徒
コミュニケーション力 考えを伝える力や情報を受け取る力	人との関わりや対話を楽しいと感じられる園児	誰に対しても進んで挨拶ができ、正しい言葉遣いや話し方ができる児童	心のこもった挨拶や場に応じた言葉遣いができ、「聴く・伝える」ことを大切にできる生徒
自尊・他尊 自分や他人の存在を大切にできる感情	自分や友だちのことを大切な存在であると思える園児	自分や友だち(他人)の良さに気付き、自分や他人を大切にできる児童	自分や他人を大切にでき、自分自身に誇りをもって行動できる生徒
学力向上 自ら学び、自ら考える力	友だちと一緒に、工夫しながら夢中になって遊ぶことができる園児	めあてを意識して主体的に学習に取り組み、最後まであきらめずに課題に取り組める児童	学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く課題解決に取り組むことができる生徒
郷土愛 生まれ育った郷土に対する愛情	地域の方との交流をうれしいと感じられる園児	春野が大好きで、関心を持ち春野の良さや課題に気付き表現することができる児童	地域愛をもち、春野の良さを誇り、地域に貢献できる生徒



イ 評価規準…発達段階におけるめざす姿

②-1 中学卒業時の評価規準



アンケート結果に基づき
CS設置推進委員会で案作成



令和4年5月
第2回
学校運営協議会で

熟
決 定



令和4年7月
第3回
学校運営協議会で

熟
決 定



園・小学校でそれぞれ協議し
案を作成

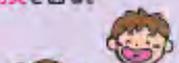
②-2 園・小学卒業時の評価規準



実現のための取り組み

(アクションプラン)



小学校(教職員)	小学校(教職員)	中学校(教職員)	中学校(生徒)	家庭	地域
<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの興味・関心のあることに心を動かしながら、関わろうとする姿を見守る。 ◆心の動きに共感し、認めたり励ましたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童の自主性を生かした活動を推進する。 ◆結果だけでなく過程も認める活動を行う。 ◆他と競い高める活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が自分自身で決定する機会を設ける。 ◆生徒のチャレンジを肯定的に評価する。 ◆振り返りを充実させ、次につながる指導や支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆失敗してもその経験に次に生かし、成功するまで取り組む。 ◆学校で提示されている目標や自分で決めた目標に対し、積極的に挑戦する気持ちを持ち行動に移す。 ◆初めからできないと思わずにチャレンジする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが自ら興味を持ったことはすすんで後押しする。 ◆失敗を恐れずにチャレンジできるように声かけをする。 ◆親が自ら何かに挑戦する姿を見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆大人が生き生きと働く(活動する)姿を見せる。 ◆地域が困っている課題の解決策を子どもと一緒に考える。 
<ul style="list-style-type: none"> ◆温かい雰囲気の中で子どもの話をよく聴き、共感する。 ◆子どもが自分で思いを伝えようとする姿を十分認め、支えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆対話を重視する授業づくりに取り組む。 ◆委員会活動等の特別活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が自分の考えを他者に伝える機会を多く作る。 ◆聴くことを大切にしている指導を常に行う。 ◆教職員自らが、挨拶言葉遣いを大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業での交流の場を生かし、相手の考えを聴き、自分がもった意見や考えを人に伝える。 ◆部活内や日常生活でも挨拶を心がける。 ◆全学年でできる何かを行い、差をなくしコミュニケーションをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆お互いに一日の出来事を話し、お互いにしっかり聴く。 ◆おはよう、行ってらっしゃい等、家庭内でも挨拶する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの話をよく聴く。 ◆大人からおはよう こんにちは等、笑顔で挨拶する。 ◆子どもの頑張りを認める。
<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもが安心して自分を出せるような環境づくりをする。 ◆子どもの姿をまるごと受け止め、大切な存在であることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆活動中、児童の良さや頑張りを認め、肯定的な声かけを行う。 ◆清掃活動や帰りの会で、児童同士、良いところを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が互いに認め、関わる機会を多く設定する。 ◆生徒の良き言動、変化を見つけ、タイムリーに評価する。 ◆生徒の日々の頑張りを認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日常生活や学校生活で気付いた自分の考えを大切にしている。 ◆自分の見つけた相手の長所をその相手と共有する。 ◆自分の考えや意思をきちんともち、人のために行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの考え方や気持ちを尊重する。 ◆子どもの良さや取り組んだことに対してほめる。 ◆できていることや自ら表現していることは認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ありがとう等、感謝の言葉を子どもに伝える。 ◆子どもが作成した作品を、地域の施設などに掲示し紹介する。 
<ul style="list-style-type: none"> ◆興味・関心のあることに夢中で遊ぶことができるよう環境を整える。 ◆主体的に遊べるようさりげなく必要な援助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆めあてを意識させた授業づくりを行う。 ◆ICT機器を活用した授業づくりを推進する。 ◆加力学習の充実を図る。 ◆学習習慣の形成(家庭学習)を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が興味・関心を持つことのできる課題を設定する。 ◆まとめや振り返りでできたことや分かったことを確認する。 ◆学ぶ意義を明確にし、家庭学習を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分も持っている疑問や興味に対して真摯に向き合い、自ら質問したり調べたりする。 ◆振り返りを通して、自分の苦手なところを把握し、印象に残ったことを大切にしている。 ◆分からない問題などがあってもすぐにあきらめずに考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自ら進んで学習に取り組めるよう時間を決めて「習慣化」させる。 ◆勉強時にはテレビを消す等家族皆で学習に適した環境を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習に関わる支援について積極的に関わる。 ◆子どもの頑張りを見守り、自ら考える力を支える。 
<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の方とふれあえるイベントに参加する。 ◆地域の方と挨拶などしながら、地域への親しみが持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の良さ及び課題に焦点を置いた学習に取り組む。 ◆総合的な学習の時間における地域に関する学習の成果を中学校につなぐ。 ◆安心なくらしのため防災学習等に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆行事等で地域の方々と交流できる機会を作る。 ◆郷土(歴史・産業・伝統)に関する学習を取り入れる。 ◆総合的な学習の時間に、地域の特色や課題を学び発信できる学習システムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の方々との挨拶を積極的に行う。 ◆地域に伝わる伝統文化で、生徒でできることに取り組み、継承していく。 ◆春野で行われている行事やイベントなどに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆親子で地域の行事に積極的に参加し伝統を知る。 ◆地域の方々、特に近所のお年寄り等と会話する機会を作り歴史を学ぶ。 ◆地域の伝統食を共に作り食しながら、家庭メニューに加える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自然や文化など、地域の魅力を子どもに伝えていく。 ◆郷土(歴史・産業・伝統)などについて、その地域だけでなく春野全域にPRする。



アクションプラン…実現のためのとりくみ

園	小学校	中学校	家庭		地域	
9 園長	2 つの	校 内 研	保 護 者	3 校 P	地 域 住	運 営 協

令和4年12月～令和5年1月の
第4・5回学校運営協議会で
すべての案を共有・熟議・修正し、最終決定

成	・ 案 作 成	作 成	施	議 ・ 案 作 成	卜 実 施	議 ・ 案 作 成
---	------------------	--------	---	-----------------------	-------------	-----------------------

テーマ
付けるべき力

めざす子どもの姿

(資質・能力)

実現のための取り組み

(アクションプラン)

園(教職員)	小学校(教職員)	中学校(教職員)	中学校(生徒)	家庭	地域

学校・家庭・地域が**熟議**を通して 目標・ビジョンを共有できた

郷土愛

生まれ育った郷土に対する愛情

地域の方との交流を
うれしいと感じられる
園児



春野が大好きで、関心を
持ち春野の良さや課題
に気付き表現することが
できる児童

地域愛をもち、春野の
良さを誇り、地域に貢
献できる生徒



◆地域の良
◆地域の
◆地域の

◆地域の良
◆地域の
◆地域の

◆行事等で地域の
◆郷土(歴史・産業・伝統)に関する
◆総合的な学習の時間に、地域の
◆安心なくらしのため防災学習

◆地域の方々との挨拶を積極的に行う。
◆地域に伝わる伝統文化で、生徒ででき
◆春野で行われている行事やイベントなど
に参加する。



◆親子で地域の行事に積極的に参
◆地域の方々、特に近所のお年寄
◆地域の伝統を共に作り食しな
ながら、家庭メニューに加える。

◆自然や文化など、地域の魅力を
◆郷土(歴史・産業・伝統)などにつ
◆春野全域にPRする。

さらに

「めざす姿」をどれだけ達成できているか？

「当事者アンケート」で計測可能に！！

I PDCAサイクルの完成…当事者アンケートの作成・実施・検証

当事者アンケートとは？



**「春野がめざす子どもの姿」
達成のための指標となるアンケートデータ**

(a) **当事者アンケートの概要**

設 問 : 「めざす姿」の評価規準とアクションプランに対応

対 象 者 : 小学4年～6年 中学生、保護者、教職員

実施時期 : 年2回（4月と11月）※保護者のみ11月



**小～中まで一貫したアンケート
保護者・教職員も自分の取り組みを振り返ることが可能**

(b) 当事者アンケートの設問の例（チャレンジ精神）

子ども達

小学生 「失敗してももう一度挑戦している」

中学生 「うまくいかなかった経験からの学びを大切にしている」



保護者

「子どもの『やりたい』気持ちを大切にしている」

「子どものチャレンジを応援し、声かけをしている」

「親が自ら何かに『挑戦する姿』を見せている」



教職員

園 「『やってみたい』を受け止め、自信がつくような声かけをしている」

小・中 「結果だけでなく過程も認めている」



(c) 学校評価への反映

…「めざす姿」の評価規準を学校評価にも盛り込む

令和4年度まで

Ⅱ
思いやりのある豊かな心と
健やかな体の育成

中項目	小項目
人権教育 平和教育	○しつけ・勇気づけを重視し、自己肯定感の高揚
道徳教育	○お互いが評価し合う認め合う場面の設定
体力の向上 食育の推進	○体育の授業・部活動・食育教育の充実
生徒指導	○持続可能な生徒指導の組織づくりと体制の確立

(c) 学校評価への反映

…「めざす姿」の評価規準を学校評価にも盛り込む

令和5年度から	中項目	小項目
Ⅱ 思いやりのある豊かな心と 健やかな体の育成	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自分の考えを他者に『伝える』機会を多く作る。 ○『聴く』ことを大切にする指導を常に行う。 ○教職員自らが、『挨拶』『言葉遣い』を大切にする。
	自尊・他尊	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が『互いに認め、関わる機会』を多く設定する。 ○生徒の良き言動、変化を見つけ、『タイムリーに評価』する。 ○生徒の日々の『頑張りを認める』。

(c) 学校評価への反映

…「めざす姿」の評価規準を学校評価にも盛り込む

令和5年度から

中項目

コミュニケーション能力

心のこもった挨拶や場に応じた言葉遣いができ、『聴く・伝える』ことを大切にできる生徒

自尊・他尊

自分や他人を大切にでき、自分自身に誇りをもって行動できる生徒

Ⅱ
思いやりのある豊かな心と健やかな体の育成

めざす子どもの姿		(資質・能力)
園児	小学生	中学生
自分のしたいことやできることを見つけ、自分で決めたり、意欲的に活動できる園児	色々なことに進んで取り組み、失敗しても、もう一度挑戦する児童	主体的に挑戦し、成功や失敗を学びとして、夢に向かって努力することができる生徒
人との関わりや対話を楽しいと感じられる園児	誰に対しても進んで挨拶ができ、正しい言葉遣いや話し方ができる児童	心のこもった挨拶や場に応じた言葉遣いができ、『聴く・伝える』ことを大切にできる生徒
自分や友だちのことを大切な存在であると思える園児	自分や友だち(他人)の良さに気付き、自分や他人を大切にできる児童	自分や他人を大切にでき、自分自身に誇りをもって行動できる生徒
友だちと一緒にあって、工夫しながら夢中になって遊ぶことができる園児	めあてを意識して主体的に学習に取り組み、最後まであきらめずに課題に取り組める児童	学習意欲をもち、粘り強く課題解決に取り組むことができる生徒
地域の方との交流をうれしいと感じられる園児	春野が大好きで、関心を持ち春野の良さや課題に気付き表現することができる児童	地域愛をもち、春野の良さを誇り、地域に貢献できる生徒

(c) 学校評価への反映

…「めざす姿」の評価規準を学校評価にも盛り込む

令和5年度から

小項目

コミュニケーション能力

○生徒が自分の考えを他者に『伝える』機会多く作る。

○『聴く』ことを大切にする指導を常に行う

○教職員自らが、『挨拶』『言葉遣い』を大切にする。

自尊・他尊

○生徒が『互いに認め、関わる機会』を多く設定する。

○生徒の良き言動、変化を見つけ、『タイムリーに評価』する。

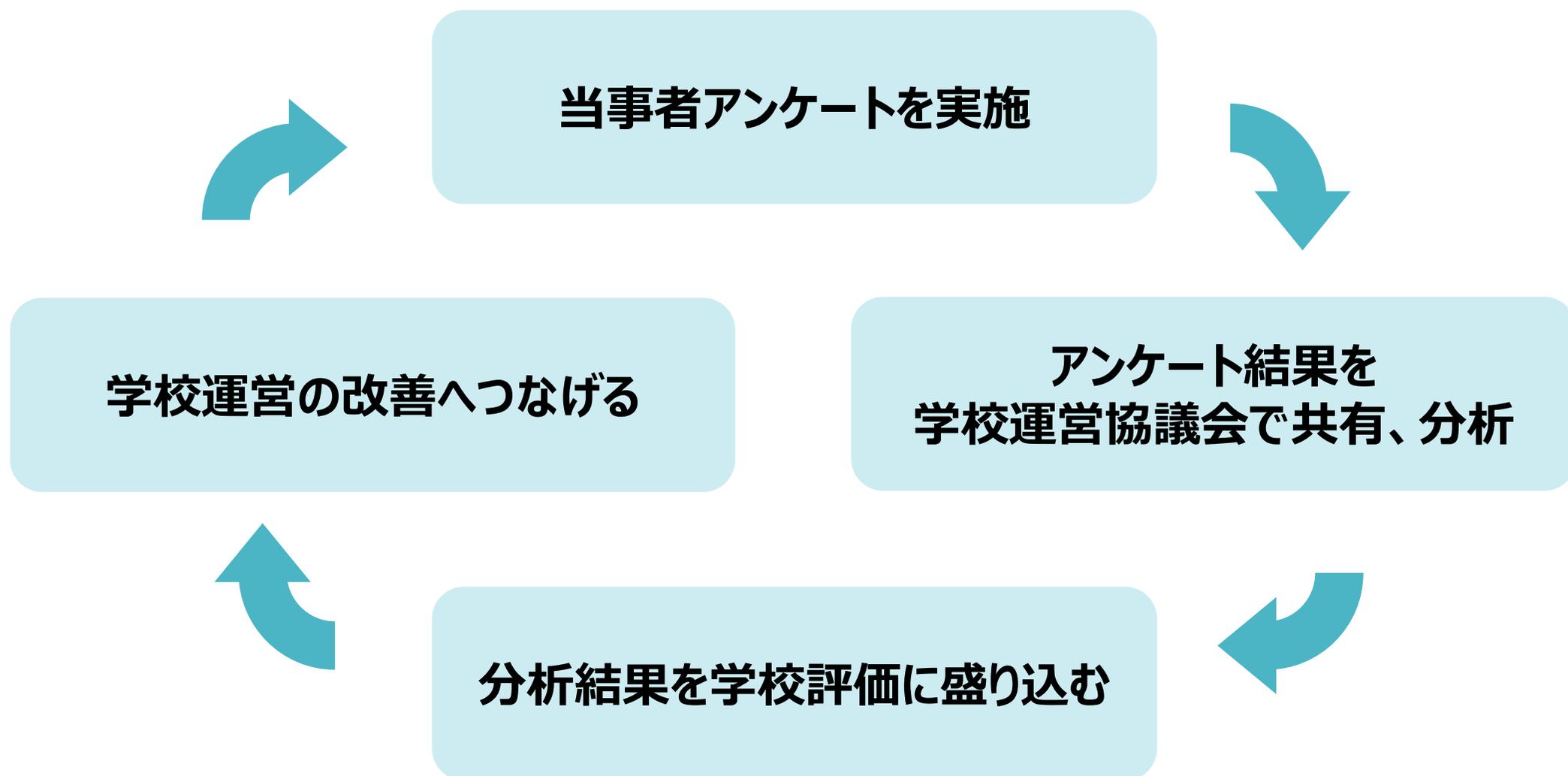
○生徒の日々の『頑張りを認める』。

Ⅱ
思いやりのある豊かな心と
健やかな体の育成

み (アクションプラン)	
中学校(教職員)	中学校(生徒)
<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が自分自身で決定する機会を設ける。 ◆生徒のチャレンジを肯定的に評価する。 ◆振り返りを充実させ、次につながる指導や支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆失敗してもその経験功するまで取り組む。 ◆学校で提示されている目標に対し、種持ちを持ち行動に移す ◆初めからできないと思わ
<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が自分の考えを他者に伝える機会を多く作る。 ◆聴くことを大切にする指導を常に行う。 ◆教職員自らが、挨拶 言葉遣いを大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業での交流の場をえを聴き、自分がも人に伝える。 ◆部活内や日常生活で ◆全学年でできる何かしコミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が互いに認め、関わる機会を多く設定する。 ◆生徒の良き言動、変化を見つけ、タイムリーに評価する。 ◆生徒の日々の頑張りを認める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日常生活や学校生活考えを大切にする。 ◆自分の見つけた相手と共有する。 ◆自分の考えや意思をのために行動する。
<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒が興味・関心を持つことのできる課題を設定する。 ◆まとめや振り返りのできたことや分かったことを確認する。 ◆学ぶ意義を明確にし、家庭学習を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分もっている疑問刻に向き合い、自ら質する。 ◆振り返りを通して、自を把握し、印象に残つ ◆分からない問題などがきらめずに考える。
<ul style="list-style-type: none"> ◆行事等で地域の方々と交流できる機会を作る。 ◆郷土(歴史・産業・伝統)に関する学習を取り入れる。 ◆総合的な学習の時間に、地域の特色や課題を学び発信できる学習システムを構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域の方々との挨拶 ◆地域に伝わる伝統文ることに取り組み、 ◆春野で行われているにに参加する。

(d) 「めざす姿」実現に向けたPDCAサイクルの完成

…当事者アンケートと学校評価の合わせ技により実現



②「春野がめざす子どもの姿」まとめ

- ✓ 1年かけて熟議し、お互いの考え・価値観を知った
- ✓ 1年かけたおかげで「私たちのもの」になった
- ✓ 作成だけで終わらず、PDCAサイクルまで完成した

成果：当事者意識の向上、PDCAの実現

課題：教育課程との関わりでの実践と評価

③

**地域ぐるみ教育を
継続、発展、活性化できる体制**

地域学校協働本部による協働活動の充実

学校運営協議会は 学校運営について**協議**し、方向性を確認する

実践した内容に
基づいて

協議した内容に
基づいて

地域学校協働本部は **実践・活動**をする

※春野では、学校運営協議会の委員も
ほぼすべて地域学校協働本部に参加している

「春野が目指す
子どもの姿」を
実現するための
実践

学校を核とした
地域づくり

学校支援活動

学習活動
学校行事
防災・環境

学校の
働き方改革を
踏まえた支援活動

その他、
運営協議会が
必要と認める
地域学校協働活動

校区部会

学校ごとの支援を協議

春野西小
22名

春野中
32名

春野東小
22名



地域学校協働本部 協議会委員 76名

学校運営協議会委員、
各校PTA役員、地域住民、
保護者、教頭、地域連携役員

全員が
両方の部会に所属

支援部会

活動ごとの支援を協議

学習・行事
30名

防災・安全
24名

環境
22名

① 職業人に聴く ※総合（キャリア教育） - 自分の目標や生き方を考える



① 職業人に聴く ※総合（キャリア教育） - 生徒の振り返り

実際、体験をすることで、見えなかったことが見えたり、気付いていなかったことに気付くことができました。

将来に向かって努力し、挑戦することの大切さや春野にもいろいろな職業があり、誇りを持ってお仕事をしていることがわかりました。

自分の将来についてしっかり考えたいと思う。

ウェルビーイングの向上（チャレンジ精神・郷土愛）

今回、仕事についての紹介だけでなく、体験等を通じて、その職業について深く理解でき、さらに興味を持ちました。

どんな資格が必要か、図を使って分かりやすく説明してくれ分かりやすかったです。

仕事のやりがいや大変さを知って、イメージを膨らませ、人と人のつながりの大切さもわかり、将来、何かの職業に就くのが楽しみになりました。

②防災の日 ※総合（防災学習） - 災害から自分や他人の命を守る



協働本部
受付



防災グッズ



段ボールベッド
組立体験



初期消火訓練



南海トラフ地震について



災害避難ゲーム



避難所とは



救助体験

②防災の日 ※総合（防災学習） - 生徒の振り返り

救助や消火の仕方を学ぶことで、私たちは**助けられる側ではなくて助ける側だと改めて感じました。**

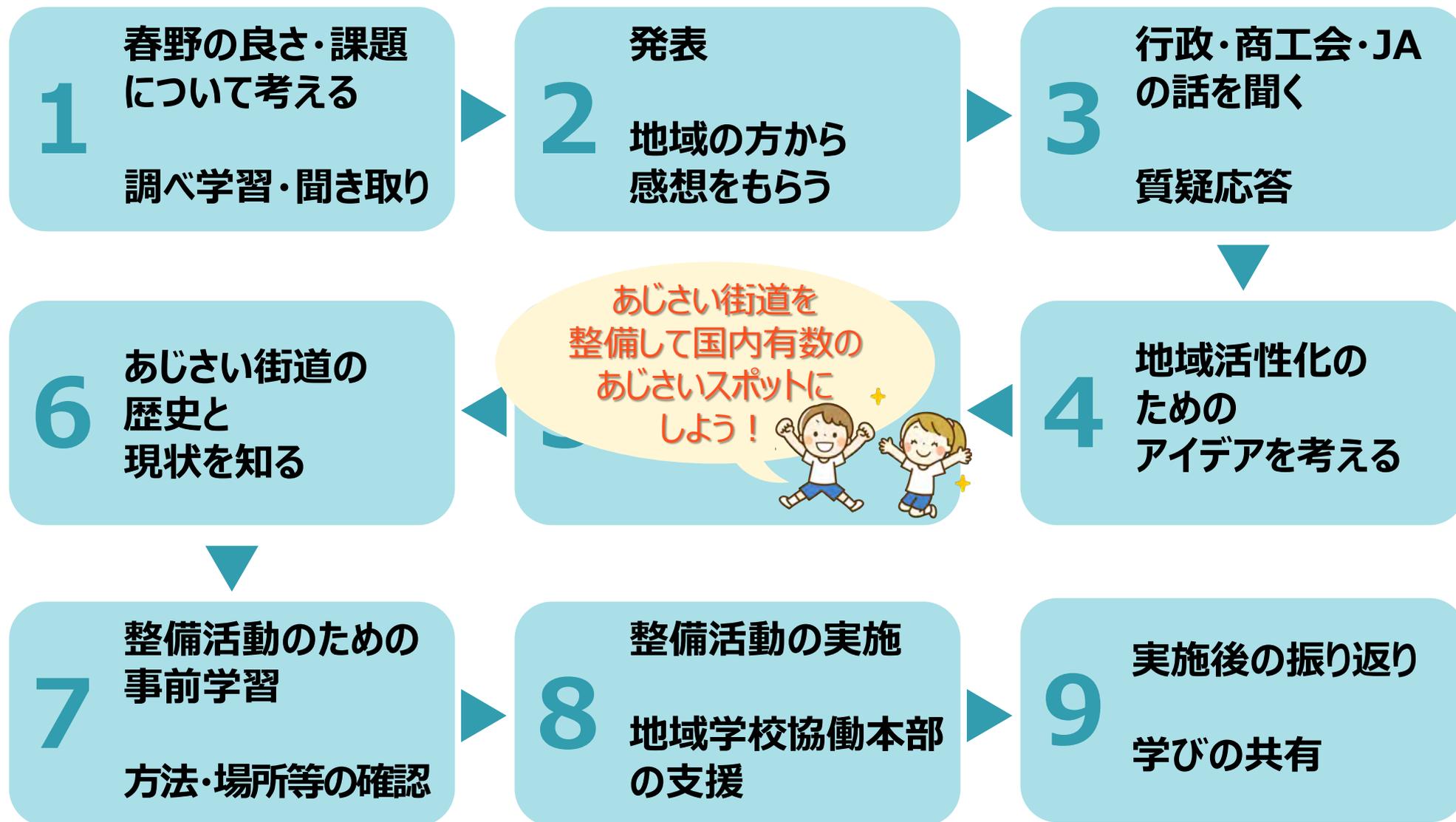
ウェルビーイングの向上（自尊・他尊、郷土愛）

地震が起きると食料、居住、食料などが必要になってくる。
これから家に帰ったら防災グッズを買って備え、南海トラフが来てもすぐに逃げられるように準備しようと思った。

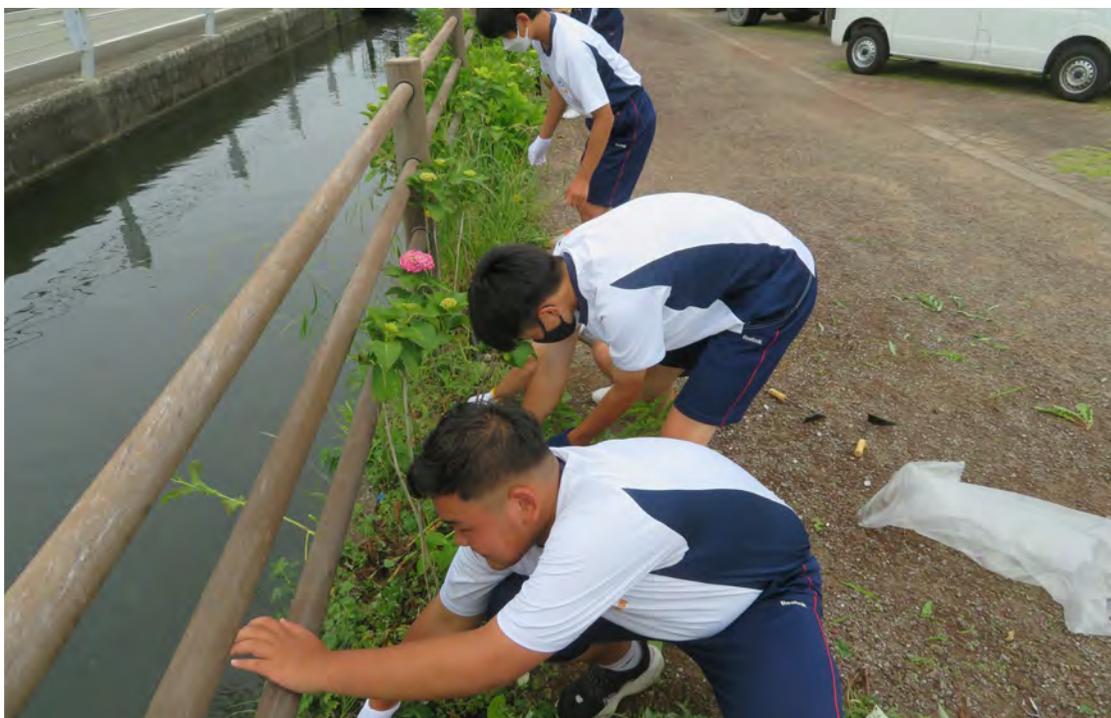
今日の活動を通じて**防災の意識**が高まりました。
地震による火災の危険性も分かったし、感電ブレーカーで防げることも分かりました。

今まで地域の避難訓練があってもいかなかったけど次は行こうと思いました。

③総合的な学習の時間（テーマ：地域貢献活動）



③総合的な学習の時間（テーマ：地域貢献活動）



③総合的な学習の時間（テーマ：地域貢献活動） - 生徒の振り返り

活動をして思ったことは、大変で手足も痛かったけど、終わった後の**達成感**は
すごくて、**春野の一員になった気がした。**

次また機会があれば積極的に取り組み、春野の魅力を増やしたい。

ウェルビーイングの向上（郷土愛・コミュニケーション力）

地域に貢献していると思うと、やりがいを感じて楽しかった。

思ったよりも雑草やゴミが多くあり、春野の現状を知ることができ、**私たちが
春野をもっとより良いものにしたい**と思った。

③春野町地域学校協働本部 まとめ

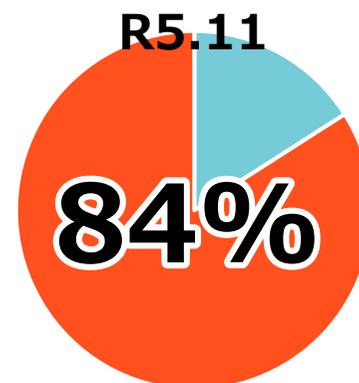
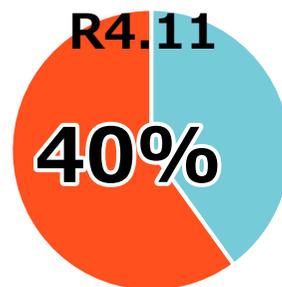
- ✓ 多様なメンバー（地域・PTA役員・元PTA・保護者）
- ✓ 年2～3回の地域学校協働本部協議会 開催
- ✓ 地域学校協働活動推進員によるコーディネート

成果：子ども・大人のウェルビーイングの向上

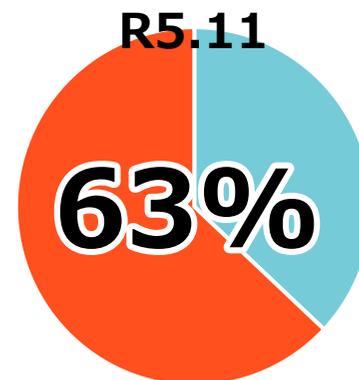
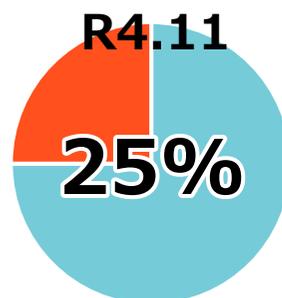
課題：ボランティア参加者の固定化

教職員アンケート（肯定的意見の高まり）

春野の良さや
課題を語るができる



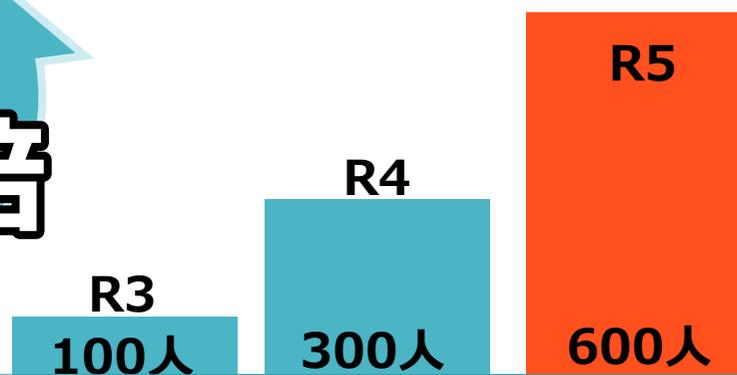
郷土に関する授業や
学習を取り入れている



地域学校協働活動の充実

活動への参加延べ人数

6倍



子ども・教職員・大人のウェルビーイングの向上

個別最適な学び

協働的な学び

社会に開かれた教育課程の実現